

家畜市場 価格の推移 (4月)

▼子牛価格(三次家畜市場)

(単位：円・頭・kg・%)

種類	入場頭数	成立	取引	最高	最低	平均	体重
スモール	雌	1	1	100.0%	20,520	20,520	20,520
	雄	158	151	95.6%	70,200	1,080	47,110
計	159	152	95.6%	70,200	1,080	46,943	63
F1	雌	144	132	91.7%	183,600	60,480	140,820
	雄	171	163	95.3%	326,160	47,520	188,608
計	315	295	93.7%	326,160	47,520	166,762	64
ホルス(5才) 雌	57	55	96.5%	335,880	89,640	212,400	767

▼搾乳素牛価格(北海道)

(単位：円・頭)

市場	開催日	出場頭数	成立頭数	成立率	最高価格	最低価格	平均価格
南北海道	4日	84	72	85.7%	679,320	330,480	534,870
十勝	7日	571	397	69.5%	748,440	286,200	584,334
釧路	16日	198	169	85.4%	663,120	379,080	567,703
根室	17日	469	391	83.4%	765,720	399,600	579,410
豊富	18日	270	219	81.1%	761,400	245,160	587,530
十勝	23日	479	436	91.0%	817,560	338,040	610,242
北見	24日	353	295	83.6%	760,320	385,560	576,973
合計		2,424	1,979	81.6%	817,560	245,160	577,295

業務報告 (4月分)

- 1日 辞令交付式
- 2日 西部ミルク会総会
- 3日 日豪EPAに関する緊急要請集会
- 4日 西日本地区酪農講演会・ネットワーク委員会
- 5日 あきたかた酪農振興会WCS研修会
- 6日 中国B&Wシヨウ(六日迄)
- 7日 三次さくら祭り出店
- 8日 Jミルクブロック会議
- 9日 元気な広島県農業戦略会議
- 10日 甲奴郡酪農女性部総会
- 11日 あきたかた酪農振興会花見会
- 12日 役員推薦事前説明会
- 13日 北広島町酪農団体連絡協議会花見会
- 14日 畜産収益力向上緊急支援リ―ス事業説明会
- 15日 第一回監事会
- 16日 日本酪農政治連盟拡大常任委員会
- 17日 中販連実務責任者会議
- 18日 ヘルパー調整会議
- 19日 ときめき隊会合
- 20日 畜産高度化支援リ―ス事業全国会議
- 21日 西部酪農協会花見会
- 22日 広島県農協農政協議会委員会
- 23日 酪農経営移譲支度金手交
- 24日 乳用牛群検定全国協議会総会
- 25日 庄原地域酪農振興会総会
- 26日 西日本酪農経営発表大会(二十五日迄)
- 27日 上下町酪農組合総会
- 28日 酪農経営安定対策補完事業説明会
- 29日 牛乳普及協会研修会
- 30日 都府県酪農経営園産粗飼料利用強化体制事業説明会
- 31日 北部畜産事務所事業推進会議

編集後記

酪農家の皆さんにとって、牧草の収穫時期を控え、或いは迎えて何かと繁忙な日々をお迎えのことと思います。今春は、雨量も少なく水田の畦草の草丈短く、雑草刈りは比較的容易であったものと感じました。

酪農家からはイタリアンライグラスの草丈が短く、採草収量が少ないと嘆きの声も聞こえます。

輸入乾牧草価格は、為替相場の円安基調や降雨などの気象条件に晒されて、高値が続いています。

酪農家の皆さんは、生乳生産コストを引き下げするため、輸入乾牧草の購入依存度を低められているように思えます。

広酪の過去十一年間の輸入乾牧草の取り扱重量、金額を調べてみますと、平成十五年年度の供給重量は一万八千七百九十九トン、平成十五年年度は七千五百九十八トンと平成十五年年度対比で約三割の減少となっています。

同様に輸入乾牧草の1kg当たりの平均単価は、平成十五年年度が四十四・四円、平成二十五年年度は五十四・八円と一・二三倍の値上げになり、酪農経営に影響をもたらしています。

酪農家自らにより自給粗飼料を生産、増産するにしても、労力面、燃料費の高騰、収穫機械の老朽化又は陳腐化などもあり、何をどう進めれば良いものかと困惑の方もおられることでしょう。

本誌四月号の特集記事では、新生「みわTMRセンター」の竣工を紹介しましたが、竣工からまもなく二か月が経過するなか、日量約五十トンを製造し四月十七日から新しいTMR飼料(中泌乳用)の供給を開始しました。

新しいTMR飼料は「安くて良いエサ」と営業発信し、既に県内・県外から利

市町別生乳受託量の進捗状況(4月)

(単位:トン)

市町名	生乳生産量	生産占有率	前年比(同月)	25年度累計	前年比(累計)
庄原市	979.4	22.1%	100.4%	979.4	100.4%
三次市	850.2	19.2%	94.0%	850.2	94.0%
世羅町	574.5	13.0%	111.3%	574.5	111.3%
北広島町	434.3	9.8%	86.2%	434.3	86.2%
安芸高田市	401.3	9.1%	99.4%	401.3	99.4%
東広島市	389.5	8.8%	109.1%	389.5	109.1%
府中市	247.3	5.6%	95.1%	247.3	95.1%
福山市	141.5	3.2%	104.1%	141.5	104.1%
広島市	103.4	2.3%	51.1%	103.4	51.1%
神石高原町	99.0	2.2%	94.9%	99.0	94.9%
三原市	96.2	2.2%	86.0%	96.2	86.0%
廿日市市	60.4	1.4%	85.6%	60.4	85.6%
呉市	55.3	1.2%	106.5%	55.3	106.5%
合計	4,432.3	100.0%	96.4%	4,432.3	96.4%

4月分乳価は?

■ 4月分乳価 4月分プール乳価は 106.928 円/kg
前月対比:101.7% 前月分 105.126 円/kg

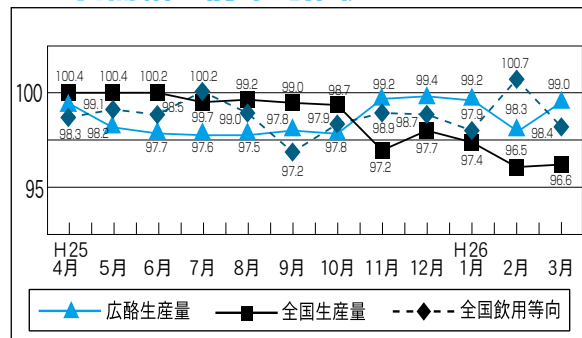
生乳受託実績(4月)

地域	備北	南部	西部	東部	合計
生乳出荷組合員戸数(戸)	45	12	46	45	148
生乳出荷量(トン)	1,619.4	444.8	999.4	1,368.6	4,432.3
前年同月対比(%)	98.1%	108.8%	84.7%	100.8%	96.4%
前月対比(%)	96.4%	99.0%	89.3%	98.2%	95.5%
生乳出荷累計(トン)	1,619.4	444.8	999.4	1,459.9	4,432.3
広酪構成比(%)	36.5%	10.0%	22.5%	32.9%	100.0%

市町別の生乳出荷組合員による購買品利用高の状況(3月)

No	市町名	購買品利用高(千円)	生乳出荷量(トン)	購買品利用占有率	生乳1kg当たりの購買品利用高(円)
1	庄原市	54,351	1,024	28.6%	53.1
2	三次市	41,792	872	22.0%	47.9
3	安芸高田市	21,061	410	11.1%	51.4
4	北広島町	16,855	454	8.9%	37.1
5	府中市	16,376	255	8.6%	64.2
6	福山市	8,689	143	4.6%	60.8
7	世羅町	7,961	577	4.2%	13.8
8	東広島市	6,739	391	3.5%	17.2
9	三原市	6,100	99	3.2%	61.6
10	神石高原町	4,159	100	2.2%	41.6
11	廿日市市	3,434	63	1.8%	54.5
12	広島市	2,126	191	1.1%	11.1
13	呉市	189	57	0.1%	3.3
合計		189,839	4,641	100.0%	37.0

生乳需給の前年比推移(3月) (単位:%)



本誌4月号(No.241)で掲載した「みわTMRセンター竣工式」でのテーパーカットをされた方のお名前が間違っていました。正しくは河野巧購買課長(全酪連大阪支所)ではなく、梅岡正人購買部長(全酪連本所)でした。お詫びし訂正致します。

○お詫びと訂正

▼ 用したいと問い合わせが殺到してしま
す。
▼ 組合員各位には、生乳生産費用の低減
の選択肢として、新しいTMR飼料の
利用を検討して戴きたいものと思いま
す。
▼ 一番の関心事は「価格」との声も聞かれ
ますが、まずは事業推進課まで問い合
わせ下さい。
▼ 何れにしても、広酪は農協法に基づき
設立された組織であり、事業を通じた
最大の奉仕に努めて参ります。
▼ 今更なことではありませんが、多くの
組合員皆さんが広酪の開発した二、三
種類のPB飼料又は広酪製造飼料の年
間利用を約束戴けないものかとの思い
が脳裏をかすめます。
▼ 組合員全員一致団結による購買事業の
全面利用の実現は、最大限のスケール
メリットを引き出せ、生乳生産コスト
の抑制に繋がるものと考えます。
▼ 乳価値上げ運動の一方で、スケールメ
リットを導き出せれば、広酪として、更
に組合員皆さんの酪農経営に貢献できる
ものと考えますが如何でしょうか？
▼ この達成の為に、広酪購買事業の全
面利用について、多くの組合員皆さん
の参画意識と賛同が必要になります。
▼ こうした考えは、如何なものでしょう
か？
(A・N)